

# 水道事業の業務状況

■問合せ 企業局総務課 (☎41-2840)

## 令和2年度上半期 (4月1日～9月30日)

### ●経理の状況

給水人口や大口使用者の使用量の減少、節水型家電製品の普及や節水意識の浸透等により、水需要は減少傾向にあるため、経費削減等の取り組みを積極的に行っています。

安心で安全な水道水を届けることができるよう、古くなった水道管の布設替えや水道施設の更新工事などを効率的に行っています。

#### 施設を整備するための収入

区分	金額
補助金・負担金・出資金	7,069万円
計	7,069万円

#### 施設を整備するための支出

区分	金額
企業債償還金	2億8,505万円
建設改良費	1億4,352万円
計	4億2,857万円

不足する額3億5,788万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補う見込みです。

#### 水道水を届けるための収入

区分	金額
水道料金収入	11億5,341万円
長期前受金戻入	8,221万円
その他	356万円
計	12億3,918万円

#### 水道水を届けるための支出

区分	金額
維持管理費	3億9,244万円
減価償却費等	3億5,730万円
人件費	1億 697万円
支払利息	6,370万円
その他	210万円
計	9億2,251万円

2年度上半期の純利益は、収入と支出の差額3億1,667万円になる見込みです。

### 2年度業務量の見込み

給水戸数  
54,552戸  
年間総給水量  
10,337,586m<sup>3</sup>  
1日平均給水量  
28,322m<sup>3</sup>

## 令和元年度決算

### ●決算の状況

平成30年度に比べ、給水収益を含む収入は181万円(0.1%)の増、支出は940万円(0.4%)の減で、収支差額は4億5,280万円となり、11年連続で黒字決算となりました。

※地方公共団体財政健全化法による資金不足額は発生していません。

#### 施設を整備するための収入

区分	金額
企業債	3億1,960万円
補助金・負担金・出資金	1億8,844万円
その他	22万円
計	5億 826万円

#### 施設を整備するための支出

区分	金額
建設改良費	7億7,066万円
企業債償還金	5億6,631万円
国庫補助金返還金	463万円
計	13億4,160万円

不足する額8億3,334万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補いました。

#### 水道水を届けるための収入

区分	金額
水道料金収入	23億5,074万円
長期前受金戻入	1億5,651万円
その他	1億7,393万円
計	26億8,118万円

#### 水道水を届けるための支出

区分	金額
維持管理費	10億5,689万円
減価償却費等	7億2,561万円
人件費	3億 877万円
支払利息	1億3,459万円
その他	252万円
計	22億2,838万円

元年度の純利益は、収入と支出の差額4億5,280万円となりました。

### ●元年度に実施した主な工事

- ・七浦町地内外配水管布設工事
- ・延命配水池送水管布設(4工区)工事

### 元年度業務量

給水戸数  
54,629戸  
年間総給水量  
10,484,531m<sup>3</sup>  
1日平均給水量  
28,646m<sup>3</sup>

水道は、私たちの毎日の生活を支える重要なライフラインです。今後も、水道事業の経営基盤の強化と長期的な安定を目指し、内部努力を行いながら、なお一層の経営の効率化と健全化に努めます。

# 公共下水道事業の業務状況

■問合せ 企業局総務課 (☎41-2840)

令和2年度上半期 (4月1日～9月30日)

## ●経理の状況

下水道普及率は、令和元年度末で67.9%となりましたが、全国平均79.7%や福岡県平均82.6%に比べ低い状況です。

多くの方が下水道を利用できるよう、年間2ポイント程度の普及率の向上を目指し整備を進めています。

### 施設を整備するための収入

区分	金額
補助金・負担金・出資金	1億2,463万円
計	1億2,463万円

### 施設を整備するための支出

区分	金額
企業債償還金	6億8,595万円
建設改良費	3億4,528万円
計	10億3,123万円

不足する額9億660万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補う見込みです。

### 下水を処理するための収入

区分	金額
下水道使用料	6億3,102万円
長期前受金戻入	4億5,742万円
その他	3,314万円
計	11億2,158万円

### 下水を処理するための支出

区分	金額
減価償却費等	8億8,044万円
維持管理費	3億4,663万円
支払利息	1億6,613万円
人件費	8,840万円
その他	8万円
計	14億8,168万円

2年度上半期の純損失は、収入と支出の差額3億6,010万円になる見込みです。

## ●2年度上半期に実施中の主な工事

- ・吉野污水第二幹線築造工事
- ・三池污水枝線管渠築造 (第13工区) 工事

### 2年度業務量の見込み

水洗化戸数  
30,653戸  
年間総処理水量  
9,249,366<sup>m</sup><sub>3</sub>  
1日平均処理水量  
25,341<sup>m</sup><sub>3</sub>

## 令和元年度決算

## ●決算の状況

平成30年度に比べ、下水道使用料収入は、下水道普及率の向上、水洗化の促進により3,283万円 (2.6%) 増、経費削減や効率的な維持管理により、収益的収支は10年連続で黒字決算となりました。

※地方公共団体財政健全化法による資金不足額は発生していません。

### 施設を整備するための収入

区分	金額
企業債	18億3,900万円
補助金・負担金・出資金	18億1,090万円
計	36億4,990万円

### 施設を整備するための支出

区分	金額
建設改良費	34億9,291万円
企業債償還金	13億4,709万円
計	48億4,000万円

不足する11億9,010万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補いました。

### 下水を処理するための収入

区分	金額
補助金・負担金	15億 144万円
下水道使用料	12億8,124万円
長期前受金戻入	8億8,143万円
その他	279万円
計	36億6,690万円

### 下水を処理するための支出

区分	金額
減価償却費等	17億3,190万円
維持管理費	8億2,846万円
支払利息	3億4,747万円
人件費	2億3,728万円
その他	3,791万円
計	31億8,302万円

元年度の純利益は、収入と支出の差額4億8,388万円となりました。

## ●元年度に実施した主な工事

- ・三池污水第五幹線築造工事
- ・吉野污水枝線管渠築造 (第9工区) 工事

### 元年度業務量

水洗化戸数  
30,192戸  
年間総処理水量  
8,474,281<sup>m</sup><sub>3</sub>  
1日平均処理水量  
23,154<sup>m</sup><sub>3</sub>



下水道は、私たちが快適で衛生的な生活を送れるよう、川や海などの自然環境をきれいに保つとともに浸水などからまちを守るための重要な施設です。今後も、経営の効率化を図り、安定的な事業運営に努めます。